

2018年（平成30年）2月7日 水曜日（先負）

日刊工業新聞

総合ガイド

ログイン

ニュース

動画

特集・連載

マイページ

機械 ロボット ICT エレクトロニクス 自動車・輸送機 化学・金属・繊維 環境・エネルギー 医療・健康・食品 建設・住宅・生活
商社・流通・サービス 政治・経済 金融・商況 地域経済 中小・ベンチャー 科学技術・大学 人物 オピニオン トピックス 新製品 その他
モノづくり日本会議 特集・広告 企業リリース 人事・機構改革 マイニュース マイクリップ

【特集】東京オートサロン

電子版オリジナル連載・特集

トップ ICTニュース 記事詳細

[ICT]

日立ソリューションズ

ドローン

日立ソリュ、インド市場開拓 業務支援 I T 商材を投入

ツイート

シェア 39

LINEで送る

(2018/1/19 05:00)



経済成長が著しいインドの I T 需要を取り込む（チェンナイ市）

日立ソリューションズはインド市場の本格開拓に乗り出す。インド企業向けに、日本の各種 I T 商材をローカライズして投入する。第 1 弾は 2 0 1 8 年内をめどに、空間情報を分析する製品・サービスを提供する予定。市場投入に向け、販売体制を確立するためのパートナー企業を調査し始めた。これまで欧米市場のオフショア開発拠点という位置付けだったが、経済成長が期待できるインドで I T 需要を掘り起こし売り上げ拡大を目指す。

日立ソリューションズは、インドの言語や商習慣などに合わせて日本の各種 I T 商材をローカライズし提供する。同国の事業を統括する日立ソリューションズインディアの藤村俊之社長は「現地向けビジネスの将来性は十分ある。現時点では早いタイミングだが、5 年後の本格展開では遅すぎると考えを示した。

第 1 弾の I T 商材は、飛行ロボット（ドローン）やセンサー、G P S（全地球測位システム）などから収集する空間情報に関連した製品・サービスに決めた。空間情報データの収集から分析、可視化、更新まで総合的に提供する。空間情報を中心に多様な情報を組み合わせた仕組みを形成し、戦略立案やマーケティングへの活用を支援する。

これまで製造業や社会インフラ、自治体など幅広い分野への導入実績がある。安全管理支援や上下水道施設管理、災害シミュレーションなどに利用されている。インドでは電力や通信、交通な

どインフラ整備が本格化しており、こうした情勢を踏まえて「やるべき工程を支援するようなツールとして需要がある」（藤村社長）と判断した。グローバルに展開し、2 0 年度に年間 1 5 0 億円の売り上げを目指す。

日立ソリューションズは 1 3 年にインドに子会社を設立し、インド市場に参入した。1 5 年には米国の I T 企業であるイグニファイを買収して同社のインド拠点を手に入れ、事業体制を強化した。欧米市場に対するオフショア開発がメインで、需要が拡大する日本企業向け情報システム支援なども始めている。

(2018/1/19 05:00)

ツイート

シェア 39

LINEで送る

マイクリップ登録する

紙面イメージで見る

記事を利用する

あわせて読みたい

マシニングセンターの進化と現状

トヨタ、2 年連続首位－第 1 1 回企業ランキング

ようこそ、
jpabscmrnews@abeam.com
(ログイン中)

[ログアウト]

マイページ | マイニュース | マイ

電子版からのお知らせ

日刊工業新聞社からのお知らせ

最近あなたが読んだ記事

2018/01/18

【電子版】マッハ6で飛ぶ偵察機の
キード幹部が意味深発言

しっかり守る。すっきり

機器から保守までワンストップの三菱電機セ

DIGUAL
ディガード

カレンダーから探す

1月							2018年02月 ▼
	日	月	火	水	木	金	
					1	2	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28				

今日の紙面PDF



2月7
の紙
PDF